

一生につなぐ毎日がここにある

JIYU

自由学園 創立100周年記念事業 募金レター

JIYUGAKUEN 100th ANNIVERSARY LETTER

つなげよう、次の100年に向けて



Vol.2

特別企画『教員の声』

期待と苦勞が入り混じりながら 発展し続ける教育現場



100周年を迎えた自由学園では、次の100年に向け、『未来を創る子どもたちが育つにふさわしい学校改革』が、動き出しています。実際に何が起こり、学びがどう変化しているのか？—奮闘する教員にインタビューしました。

新カリキュラム 『共生学』から生まれた学び合い

中等科・高等科のカリキュラムとして、新しく『共生学』と『探求』がスタートしました。

共生学では、平和・環境・人権について学びます。生きた社会課題を24講座に分け、複数の教員で担当し、生徒は半年かけて各講座をひと通り学び合います。後半は各生徒が希望したテーマに分かれ、深掘りしながら課題発見・解決へのアクションを試みます。

実社会の問題への関心を育む貴重な時間ですが、じつは、学び以外に教育システムとしても大きな効果がありました。それは、複数の教員が担当することで互いの専門性が混ざり合い、相乗効果が生まれることです。

教科は、学年が進むにつれ、物理・化学などと科目が細分化されていきます。でも、実際の社会課題は、様々な要素が複雑に絡み合って生まれます。その統合的課題を、複数の教員が独自のアプローチを示し合うことで、生徒は視点の違いを感じたり、これまで少なかった教員同士の学び合いが生まれるのです。



新カリキュラム 『探求』の経験が自由な生き方につながる



探求は、各々の興味関心から、とことん深掘りする時間です。2019年まで行っていた学業報告会のイメージに近く、毎週4単位を確保して、年間通して行います。共生学から見いだした問題意識を、そのまま掘り下げることがあれば、社会的に関心が低いことでも自分の興味本位で始めてOKです。好きなことに集中、没頭できる一方で、自由度が高く、戸惑う生徒もいます。また、“教えること”を目指してきた教員も、共にもがくことがあります。

探求(他校の探究)は、この先の教育の中核になるとされていますが、現状でここまで時間を確保した学校は、ごく稀です。「答えのないこの世界で、自ら問いを立てて、自ら答えを出す—」探求は、生きる経験そのものなのです。



募金事業 『校舎改修計画』 に参画した生徒たちの視点と広い視野

今回、男子部体育館改修に向けた計画を考えるにあたり、有志で結成した生徒のチームと共に、先進的な学校建築を実際に見てきました。生徒たちはピュアに興奮しました。でも、帰って意見を聞くと、「これを学園にそのまま持ってくると、損なわれることがあるんじゃない?」と言ったんです。同時に、「フランク・ロイド・ライト、遠藤新、遠藤楽の建築思想を知らずして改修できないよね」と言い、建築を学び直し始めました。



男子部体育館 外観 (2020年8月撮影)

自分たちがどう学びたいか意思を伝え、提案を作った建築士に「ここはどうなってますか?」と聞きながら、軌道修正をしていく——まさにマイホームを立てるように、生徒たちはアイデアを出し合い、設計事務所が生徒や教職員の声を吸い上げて今回のプランに落とし込みました。

図 A

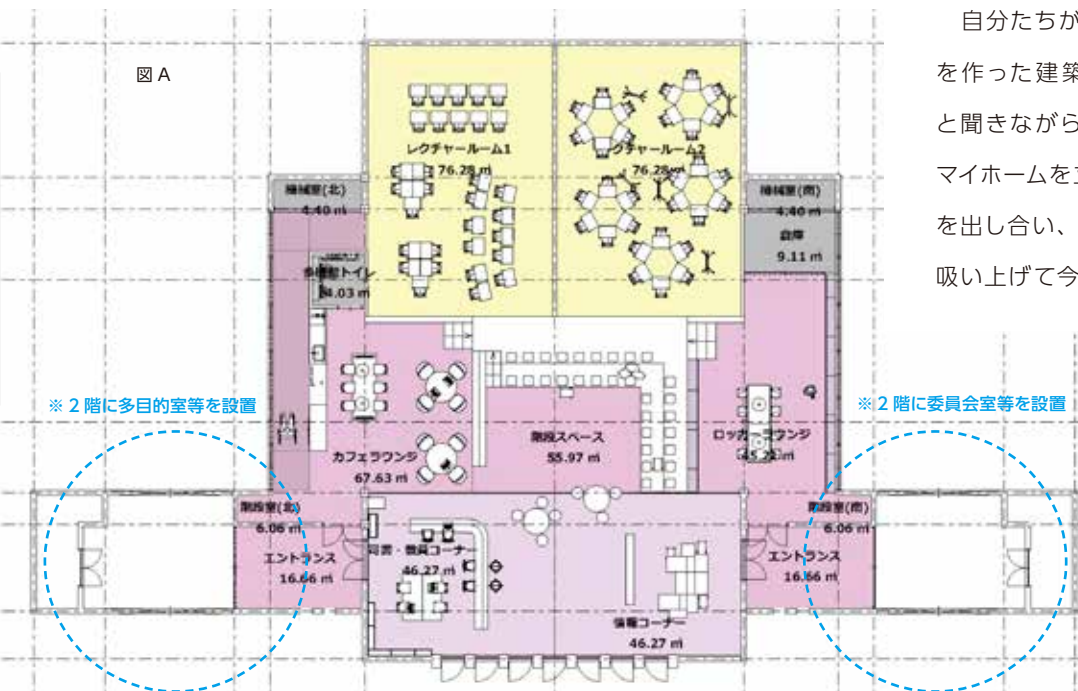


図 A : 1階部分の設計図

- 2つのレクチャールーム
- 集える階段スペース
- カフェラウンジ
- ロッカーラウンジ
- 司書・教員コーナー
- 情報コーナー
- 多機能トイレなどを備える

そこで驚いたのは、生徒たちが、「時代や状況に合わせて、可変性や流動性を持たせたい」と希望を出したのです。この建築が、次の世代やチーム外の生徒にとって、建売り住宅になってしまわないように考えていたのです。この学園の生徒たちは、物を複眼的に見る力があると思います。



改めて大切だと感じた “学びのための環境”

生徒の「そのまま持ってくると損なわれるかも」は、学園生活で、いつも歴史的建造物に触れているからこそ、生まれた発想だと思います。先日、生徒たちが、名栗の木でベンチを作ったのですが、置き方をL字に変えただけで“語り場”が生まれたんです。

多様性を認め合い、一人ひとりを大切にするためには、時に集中でき、時には逃げ込める小空間が必要だと思います。対話が生まれやすい環境を創るためには、やはり、気軽に集える空間や、互いの顔が見やすい円卓のようなものが重要です。バリアフリーが当たり前でなければ、世の中にあるハンディキャップは、心の底では“仕方のないこと”と考えるしまう感度の人が育つかもかもしれません。

「今までのものじゃダメなの？本当に必要なの？」と言われてれば、「できなくはない」という答えになるかもしれませんが、建築を含む、一つひとつの環境全てに、暗黙のメッセージが込められているのだと思います。自然あふれる学園生活で、環境への意識が根付くように、生活と学びが密に関係している自由学園だからこそ、学びのための環境はとても大切なんだと、改めて気づかされました。



▲2階多目的室と委員会室をつなぐキャットウォークのイメージ
(ゆるやかな共同性を持った個別学習スペース)

つなげよう、新しい未来に 募金委員長 埴 健司

募金レター第2号をお届けします。創立100周年記念募金が始まって1年半。2022年5月末現在、2,465件、5億8千万円を超える申し込みをいただきました。心より感謝申し上げます。

いま、学園では、2024年から始まる中高の共学体制と探求的な学びを追求する新しい学びの方向を、生徒たちと教師の方々が一緒に模索しながら、力強く一歩ずつ進めています。

いただきました募金は、このレターにあるように、急がれている新しい教育に対応する環境の整備に充てられます。今年の秋には100周年を記念して、自由学園に連なる皆様を学園がお招きし、自然を楽しんだり、新しい学びに向けた改修中の校舎に接したり、親しい友との交流の時間を過ごしていただく企画がありますので、楽しみにしてください。

自由学園が目指している、独自の新しい方向が、未来への大きな希望となることを信じてやみません。希望を支える募金へのご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。



ご寄付の主な用途

※詳細は100周年記念サイトにも掲載しております。

探求的な学びの推進に向けた 既存校舎の改修

事業予算
4億5000万円



男子部体育館を中心とした教室棟、女子部体操館と教室棟の改修により、生徒の多様で主体的な学びを推進できる場所、集まって討議できる場所など、探求や共生の学びを円滑に対応できるように整備し、男女共学に必要な設備も整えます。

ICT* 教育関連設備の充実

(* 通信技術を活用したコミュニケーション)

事業予算
1億円



新しい学びに対応するための教員や生徒の機器、教室の設備等の調達、教員の研修などを行います。また、通信技術を活用し、多様な国や文化と触れる機会を積極的に増やします。

教職員人材育成基金 羽仁もと子育英基金の充実

事業予算
5000万円



教職員を育成するためのプログラムを拡充します。羽仁もと子育英基金は、自由学園の思想と実践を深く理解し、共有してくださるご家庭のお子様への奨学金とします。

共生共学のための 次世代型新校舎建設の原資

総事業予算の一部
3億5000万円



2024年度の男女共学化から数年かけて調整を行い、共生共学と、その先の共生共創を想定した、次世代型新校舎建設の原資とします。

100周年記念限定品 再販のお知らせ

昨年、ご好評につき完売した、キャンドルライトハウスと木工人形の事前予約を7月1日に開始いたします。



▼ 詳しくはこちら ▼



<https://www.jiyu.ac.jp/blog/info/80421>

また、新たな限定品の販売も予定しております。

11/23
開催決定

自由学園主催「JIYU1123」

100周年を記念して自由学園に連なる皆様に
秋のキャンパスを楽しんでいただく日



【開催日時】2022年11月23日10:00~15:00(予定)
詳細が決まり次第、ご案内いたします。

ご寄付返礼品のご紹介 ～返礼品を希望された方へ～

100周年募金にご協力くださいました皆様へ感謝を込めて返礼品をご用意いたしました。返礼品は、ご寄付金額に応じてお選びいただける品と点数が変わります。お申込額の満額をご寄付くださった方に、翌年の5月頃、申込はがきをお送りいたします。

1 創立100周年ロゴ入り
オリジナル付箋



2 ナノブロック
自由学園 明日館



3 書籍
「本物をまなぶ学校」



4 食事研究グループ缶入り
クッキー (明日館限定缶)



5 学園ロゴ入り
クリスタルルーペ



6 食事研究グループ
缶入りクッキー (1号缶)



7 学園オリジナル
USBメモリ



8 学園ロゴ入り牛革ペンケース
(100周年ロゴ入りチャームつき)



9 書籍
「自由学園100年史」



10 食事研究グループ
缶入りクッキー (3号缶)



11 羽仁もと子書(複製)
色紙大額装(約30×30cm)



12 羽仁もと子書(複製)
額装(約40×40cm)



A 1万～3万円未満の方

100周年ロゴ入り付箋をレターに同封してお送り致します。

B 3万～5万円未満の方

1～3より『1つ』お選び頂けます。

C 5万～15万円未満の方

1～5より『2つ』お選び頂けます。

D 15万～30万円未満の方

1～7より『2つ』お選び頂けます。

E 30万～50万円未満の方

1～9より『3つ』お選び頂けます。

F 50万～100万円未満の方

1～11より『3つ』お選び頂けます。

G 100万円以上の方

1～12より『5つ』お選び頂けます。

創立100周年募金について

皆様からのご支援を心よりお待ちしております。

目標金額	募金単位	募金期間
総額 10 億円	一口 1 万円	2020 年 9 月 15 日より 2025 年 3 月 31 日まで

お申込み

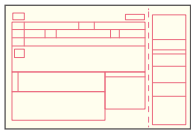
申込用紙または、インターネットでお申込み頂けます。【URL】<https://www.jiyu.ac.jp/100th/bokin.html>



ご寄付の方法

A 郵便振替の方

同封の払込取扱票にてお振込ください。



00180-0-266140

B 銀行振込の方 (※口座名義は全ての金融機関で同じです。)

下記いずれかの口座へ、寄付申込者のお名前でお振込ください。

りそな銀行
田無支店 (765)
普通 4068480

みずほ銀行
田無支店 (271)
普通 3032312

三井住友銀行
田無支店 (851)
普通 4304447

ゆうちょ銀行
〇一九支店 (019)
当座 0266140

☐座名義 学校法人 自由学園 100周年募金口 がくろくがくえんひゃくしゅうねんぼきんぐち

C クレジットカードまたはコンビニ払いの方

募金申込ページへアクセスします
<https://www.jiyu.ac.jp/100th/bokin.html>



フォームに必要情報
をご入力ください

決済画面へ
お進みください

利用可能
クレジットカード



利用可能
コンビニ

セブンイレブン、ローソン
ファミリーマート など

D 銀行自動引落の方

10 口以上の方は、毎月銀行自動引き落としをご利用いただけます。申込書にその旨をご記入ください。

税制上の優遇措置

● 個人の場合

この寄付は、税制上の優遇措置を受けられます。また、一部の自治体では、個人住民税の寄付金控除の対象となります。ご寄付をくださった全ての方に所得控除・税額控除に係る証明書と領収書を発行いたします。ぜひご利用ください。

● 法人の場合

企業など法人からのご寄付は、寄付金額を当該事業年度の損金に算入できます。寄付の手続きによって、損金算入の額は異なります。税制の詳細につきましては、ご担当の税理士または所轄の税務署へお問い合わせください。

お問合せ

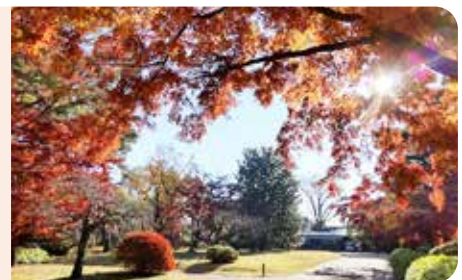
自由学園 創立100周年募金事務局 〒203-8521 東京都東久留米市学園町1-8-15
TEL: 042-422-3111 (代表) FAX: 042-428-4235 E-mail: 100bokin@jiyu.ac.jp

11/23
開催決定

自由学園主催「JIYU1123」

100周年を記念して自由学園に連なる皆様に
秋のキャンパスを楽しんでいただく日

【開催日時】2022年11月23日10:00~15:00(予定)※詳細が決まり次第、ご案内いたします。



JIYU

一生につなが毎日がある
学校法人 自由学園

【自由学園HP】<https://www.jiyu.ac.jp/>

【100周年記念サイト】<https://www.jiyu.ac.jp/100th/>

▼JIYU

▼100th



寄付者芳名

ご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。(敬称略・五十音順)

募金状況のご報告 (2022年3月末日現在)

申込金額	募金総額	申込件数
5億8085万円	4億8372万円	2,414件

2020年9月15日～2022年3月31日にご寄付くださった方のうち、お申込の際、お名前の公開に承諾してくださった方を掲載しています。承諾されなかった方、確認の取れなかった方のお名前は掲載していませんが、ご連絡いただければ次回のレターに掲載させていただきます。

【友の会】

全国友の会	浦和友の会	木曾友の会	札幌第二友の会	多治見友の会	徳島友の会	弘前友の会	松山友の会
会津友の会	宇和島友の会	北九州友の会	札幌友の会	さつき最寄・	徳山友の会	広島友の会	水沢友の会
青森友の会	江別友の会	北見友の会	サンパウロ友の会	養正最寄・	富山友の会	深川友の会	水戸友の会
秋田友の会	大分友の会	京都友の会	下関友の会	脇之島最寄・	豊岡友の会	福井友の会	宮崎友の会
旭川友の会	大垣友の会	釧路友の会	上越友の会	中津川最寄	豊橋友の会	福岡友の会	武蔵野友の会
飯塚友の会	大阪友の会	俱知安友の会	白石友の会	多摩友の会	中野友の会	福島友の会	室蘭友の会
伊勢崎友の会	大牟田友の会	熊本友の会	新宮友の会	知多友の会	長野友の会	福山友の会	盛岡友の会
伊勢友の会	岡山友の会	久留米友の会	諏訪友の会	千歳友の会	名古屋友の会	藤沢友の会	山形友の会
潮来友の会	沖縄友の会	呉友の会	全国友の会九州部	千葉友の会	奈良友の会	富士友の会	山口友の会
市川友の会	尾道友の会	高知友の会	全国友の会南関東	中国部	新潟友の会	防府友の会	八幡浜友の会
伊那友の会	帯広友の会	神戸友の会	仙台友の会	土浦友の会	新居浜友の会	舞鶴友の会	横浜友の会
今治友の会	小山友の会	郡山友の会	草加友の会	津友の会	萩友の会	前橋友の会	四日市友の会
いわき友の会	加古川友の会	佐賀友の会	ソウル友の会	津山友の会	函館友の会	町田友の会	米子友の会
岩国友の会	鹿児島友の会	相模友の会	大社友の会	東京第一友の会	八戸友の会	松江友の会	米沢友の会
岩見沢友の会	鹿島友の会	佐久友の会	高岡友の会	東京第三友の会	浜田友の会	松阪友の会	和歌山友の会
宇都宮友の会	金沢友の会	佐世保友の会	高崎友の会	東京第四友の会	浜松友の会	松戸友の会	稚内友の会
宇部友の会	鎌倉友の会	札幌第三友の会	高松友の会	東京第二友の会	姫路友の会	松本友の会	

【団体】

女子部32回生	女子部50回生	女子部56回生	女子部68回生	女子部75回生	中四国保護者会	八戸友の会ひらぎの会一同
女子部33回生	女子部51回生	女子部57回生	女子部70回生	女子部84回生	東海保護者会	みなみさわ島代表カルガモより
女子部43回生	女子部55回生	女子部64回生	女子部71回生	生活学校7回生		2021年度四部保護者会

【法人】

えいふく内科クリニック	株式会社大文字	春花秋月 HARUから	中沢乳業株式会社	有限会社米村でんじろうサイエンスプロダクション
SMBC日興証券株式会社大泉支店	株式会社タガス	高田スポーツ店	三菱電機ビルテクノサービス株式会社	
株式会社ウイズダムマネジメント	株式会社婦人之友社	玉の肌石鹸株式会社	ミヨシ石鹸株式会社	
株式会社小島食品	株式会社府中開治屋	都築牛乳店	有限会社荒川青果	
株式会社成城ハウジング	株式会社リフレッシュ	東京北魚株式会社東久留米支社	有限会社うな忠	

【個人の方】

Murray 雅子	浅野 賀則・久美	新井 淳子	石井 利光	井田 博康	犬伏 寿美	植木 耕太・裕子	内田 文喬
相澤 恵奏	浅原 和真	新井 陽子	石井 恭子	井田 ミツ子	井上 明子	上田 悦子	内山 あずみ
青木 恭子	浅原 牧男・康子	荒川 千代子	石井 小春	板倉 しほ美	井上 恵子	上田 通代	内山 啓子
青木 さやか	阿佐比 伊葉子	新 不二子	石井 重夫	市川 由希子	井上 志津	植田 令子	内山 恒平
青木 弘・和子	浅見 明子	荒谷 真理子	石井 雅子	市毛 弘子	井上 登美	上野 茂博	内山 静子
青木 ゆり	阿左美 美恵子	新田目 大介	石井 泰子	一ノ瀬 英世	井上 倫哉	上野 純子	宇都宮 雅子
青山 秀哉	阿左美 幸成	有田 喜代子	石井 由美	一志 太紀子	猪股 清郎	上原 信和	宇野 重雄
赤木 和子	芦澤 広太郎	有田 幸子	石川 恭子	井出 正樹・邦恵	今井 昭子	上村 敬子	宇野 りつ
赤木 努	芦澤 良平	安藤 恵美子	石川 邦子	伊藤 晶子	今井 清	上村 摩耶	馬田 恭子
赤木 博子	小豆沢 千加代	飯島 亜砂子	石川 信克	伊藤 香菜子	今泉 政浩	上山 順子	梅崎 智子
明石 孝人	畔津 正孝	飯田 国夫	石崎 重久	伊藤 小弥太	今北 泰之	魚住 祐子	梅澤 美和子
明石 雄介	麻生 清美	飯田 久美子	石田 勝彦・恵理	伊藤 サチ子	今中 潤子	釜口 英司	占部 慎子
明石 由紀	足立 隆史	飯塚 啓子	石田原 えり	井東 大輔	井本 昌司	宇佐川 厚	ウルフ ジェイソン
赤松 敏子	足立 正史・琉史	飯塚 宜子	石藤 治子	伊藤 なぎさ	入江 陽子	宇佐美 幸助・堯子	上澤 佑基
秋山 研吉	厚味 厳一・典子	飯塚 陽子	石橋 勝喜・フクエ	伊藤 寿夫	入谷 伸夫	宇宿 洋子	上保 暢人
秋山 千鶴子	渥美 博夫	飯野 恭子	石橋 陽子	伊藤 文男	岩崎 佐知子	宇田川 元一	江副 康正
芥川 博子	油谷 昊	飯淵 弘成	石原 勇一	井東 文一・洋子	岩崎 雅子	宇田川 靖	江藤 伸子
阿向 里海	阿部 兼美	飯淵 みな子	石原 亮	伊藤 昌子	岩下 祥世	宇谷 暢利	榎田 健
阿向 尋子	阿部 光一	五十嵐 清文	石原 亮	伊藤 雅信	岩瀬 浩尉	内川 和哉	榎田 二三子
浅井 清美	安部 喬・順子	五十嵐 聖代子	石村 牧子	伊藤 正博	岩田 孝子	内木 孝一	榎戸 力
浅井 豊	安部 弘隆	居川 弘司	伊集院 浩子	伊東 美代子	岩田 直樹	内木 智朗	榎本 和子
浅川 曜子	阿部 光成	生井 俊一・由美子	石渡 尚恵	渭東 容子	岩田 亮子	内田 篤	海老塚 尚子
浅田 芳子	阿部 優子	池田 桂子	泉 迪子	伊藤 善純	岩垂 路子	内田修・美佐子・光	江間 祐司
浅野 純江	雨谷 純・秀子	池田 喬	井関 加津子	伊藤 禮子	岩鶴 智恵子	内田 邦夫	江村 政子
浅野 聡一朗・玲奈	天賀谷 清太郎	池田 哲郎・由紀子	井関 康志	稲垣 征子	岩原 正子	内田 千恵子	恵良 泰夫・具子
浅野 正	天羽 道子	池本 トシ子	五十川 陽洋	稲垣 千春	岩村 まや	内田 直子	恵良 能夫
浅野 正也	雨宮 麗	井崎 義治	磯本 純子	稲葉 裕	岩本 玲子	内田 望・千洋	遠藤 邦子
浅野 由紀	新井 恭子	石井 絵美	井田 幸子	稲村 朝子	岩谷 幸子	内田 春男	遠藤 壮二

豊田 恵	成田 由起	濱野 久子	藤井 常俊	松尾 秀希	宮本 正子	柳田 洋史	吉江 明子
鳥山 博子	西 和江	濱野 弘子	藤井 康彦	松尾 宏子	宮本 祐子・初夏子	柳平 英孝	吉岡 美保
内藤 順子	西 襄二・順子	濱野 誠	藤澤 葵未穂	松岡 享子	村岡 三千代	矢野 尚義	吉岡 隆之介
内藤 節子	西 享子	早川 恵美子	藤澤 禾二	松川 勝之	村上 純子	矢野 恭弘	吉岡 亮介
中井 勝・征女	西川 博久	早川 澄子	藤澤 素子	松崎 令子	村上 民	矢作 弘	吉川 昭二
中尾 幸	西口 光夫	林 清子	藤下 由紀子	松重 恵子	村上 真基・恭子	数内 伸之・美沙子	吉川 博子
中尾 展也	錦織 雅子	林 重治	藤田 光一・歩	松下 直子	村上 玲子	山縣 勤吉	吉澤 顕
長岡 晴子	西田 利子	林 秀子	藤田 剛・友子	松島 秀宣	村木 知子	山縣 ゆり	吉澤 裕子
中川 直太	西田 允保	林 睦子	藤田 直子	松田 解	村田 アツ子	山神 克允・明子	吉田 秀得・和子
中川 宗洋・葉子	西野 奎子	早瀬 勇・慶子	藤田 真理	松田 和夫	村田 麻理子	八巻 優	吉田 俊子
中川 素子	西野 路子	羽山 三恵	藤野 侃	松田 佳徳	村中 小雪	山北 道智・詩乃	吉田 文代
中崎 敦子	西村 清美	原 一江	藤本 紀子	松田 憲明	村松 和美	山口 久美子	吉田 昌功
中里 法子	西村 輝夫	原 孝二	藤原 昭子	松平 美江	村松 結子	山口 周三・和枝	吉田 幸子
長澤 栄治・美沙子	新田 英子	原 淳子	澁田 治良	松永 律子	村本 理	山口 秀樹・茂子	吉武 俊雄
長沢 清美・純一郎	二宮 良平・幸子	原 雅郎	澁田 京子	松原 斐子	村山 順吉	山口 牧・哲子	芳竹 弥生子
中澤 弘生	野口 真知子	原 ゆくみ	澁田 陽子	松村 耀子	村山 直樹	山口 泰行	吉野 博昭
永澤 幸子	野崎 智佐子	原口 栄一	船木 由美	松村 芳男	村山 文子	山口 曜	吉原 由美子
中島 祥子	野尻 克樹	原田 耕一・弥恵子	船津 節子	松本 あずさ	村山 睦	山崎 瑞子	吉本 圭子
中島 美香	能勢 美根子	春山 義夫・芳子	船山 睦子	松本 敦子	目崎 真理	山崎 郁子	吉本 順子
長島 美穂子	野田 淳子	日浦 盛夫・宏子	フリンプナル野崎由美	松本 榮子	毛利 悦子	山崎 道子	依田 亜紀子
永田 農	野田 伸子	松垣 佐和子	古川 幸子	松本 日出代	望月 伸子	山崎 美津江	米沢 修身・裕子
永田 淳子	野田 幸雄	東 忠節	古里 光	松本 弘子	望月 宗夫	山崎 みどり	米澤 友子
中塚 大輔	野中 正子	日暮 喜代子	古山 輝夫	松本 美知子	茂木 香織	山崎 好江	米田 圓子
中出 知里	野村 加寿子	久田 宏	北條 一男	松森 正憲	元井 修也	元井 修也	寄田 猛・晴代
中西 やす枝	野村 潤	氷沢 博敏・澄子	星住 リハカ	松山 馨	元田 充隆	山下 英一	ラスムセン前田かおる
永野 建一・美恵子	野村 尚子	日高 啓治	星野隆太郎・久美子	松山 忍	本橋 成一	山下 謙介	力石 智
中野 征津子	野村 正子	日高 科子	細内 尋秋	間谷 一絵	本村 啓子	山下 耕司	力久 俊治
中野 哲良	萩原 潤一	日高 昇・幸子	細田 敦子	丸山 郁子	本村 昭平	山下 純一	若松 冬美
中野 創	伯井 裕子	日高 幸子	堀田 純一	丸山 賀津子	本山 歌子	山下 卓郎	若松 紀子
中野 広子	碓 佳代子	平井 妙子	堀田 政信	丸山 純世	森 晨雄	山下 朋子	脇 英親・恵美子
中野 通	橋 国雄・松枝	平井 寛子	堀田 真利子	丸山 太郎	森 栄二	山下 雄作	脇阪 克二
中林 三平	橋 直彦	平井 見子	堀 さとみ	丸山 澄子	森 清	山下 幸子	脇阪 俊子
中林 メグミ	橋本 和子	平石 忠子	堀 弘樹	御鍵 園子	森 祥子	山田 篤子	和久井文治・恵美子
永原 富子	橋本 恵子	平岩 国泰	堀内 昭	三笠 棕子	森 大樹	山田 綾子	和食 俊朗
仲原 ゆかり	橋本 里美	平岡 務	堀内 響子	三上 聡子	森 妙子	山田 和子	和田 恵子
中満 敦子	橋本 俊明	平方 眞	堀内 恵	三木 晴雄	森 亨・京子	山田 純嗣	和田 幸恵
長峰 峯子	橋本 磨早彦	平川 カツコ	堀之内 啓子	三島 健二	森 敏朗	山田 雅子	渡辺 敦子
中村 喜志子	橋本 みのり	平川 仁子	本郷 慶子	三島 純子	森 尚志	山田 洋子	渡辺 歩
中村 久仁子	羽豆 由紀子	平社 博之	本庄 薫・ルミ	三島 正寛	森 稚子	山田 玲子	渡邊 和子
中村 孝子	蓮實 マス子	平田 廉吉	本庄 岳	水上 みどり	森井 宏之・典代	山田 連子	渡辺 恭子
中村 徳三	蓮本 かをる	平田 謙一	本庄 和子	水上 洋一	森川 礼子	大和 文哉・啓子	渡邊 敬
中村 英俊	長谷川 昌子	平田 昇華	本條 友子	水嶋 千枝子	森木 郁夫	山中 みどり	渡辺 桂子
中村 雅子	長谷川 正	平田 真理子	前川 敦子	水谷 愛子	森田 清子	山中 裕子	渡邊 閑
中村 正道	長谷川 葉子	平塚 杏菜	前川 智	水野 英二	森田 哲也	山根 和代	渡辺 純代
中村 正義	長谷部 文恵	平塚 恭子	前田 廣昭・久美子	水野 純子	森田 正人	山根 恒	渡辺 卓
中村 光宏・真理子	長谷部 康子	平林 澄江	前田 裕子	三田村 禮子	森寺 光子	山野 裕	渡辺 千鶴子
中村 基信・知子	秦 賢志	平山 京子	前田 禮子	光井 正信	森見 武・十和	山野田 信治	渡邊 徹
中村 泰利	畠山 澄子	広瀬 いづみ	前原 和子	三次 園子	森本 洸	山村 弘志	渡辺 明子
中村 安博	畠山 智子	廣瀬 徹也・恭子	前山 健太郎	光本 隆司	森本 眞知子	山室 信雄	渡辺 美樹
中村 百合子	畑田 和子	風當 恵津子	牧野 慎也	宮安 多恵子	八重樫 真理子	山本 彩子・太郎	渡邊 三千代
中村 陽三	畑田 崇行	深川 卯子	間阪 洋子	南 陽太郎・明子	矢上 千恵子	山本 明	渡辺 康之・祥子
中村 佳子	波多野 昌子	深沢 絵美子	益子 貴寛	南谷 俊子	八木 顕人	山本 修・佳代	渡辺 康史
中村 玲子	花島 芳子	深澤 思乃	真下 昌子	簗 伸子	八木 文子	山本 幸右	渡辺 穰
中元 治恵	花田 啓一	深沢 多聞	増井 保彦	宮内 貞美	八木 政人	山本 環	渡辺 陽子
永山 隆子	塙 健司	深佐和 美紀	増田 栄治	宮内 東光	矢島 義識	山本 由起子	渡辺 陽子
中山 美恵子	羽仁 協子	深津 章子	増田 健太郎	宮内 ひろみ	安井 崇・彩子	山本 洋子	渡辺 喜雄
渚 俊彦	羽仁 進	福井 明	増田 健平	宮尾 美恵子	安井 淑子	雪山 香代子	綿貫 吉典
灘山 克子	羽仁 喬・トク	福井 広和	増田 浩史	宮崎 聰子	安田 榮一	湯山 泰男・朗子	渡野辺 泉
夏井 孝之	羽仁 信子	福井 誠	増渕 千幸	宮崎 舞衣子	安田 真季子	横井 禮子	
夏井 裕明	羽仁 峰生	福島 拡	増渕 哲夫	宮崎 幸夫	安田 由紀子	横尾 祥子	
夏井 正明	羽仁 曜子	福島 宗郎	町田 信子	宮下 まり	安田 良二	横尾 宗敬	
七沢 幸之	馬場 浩	福永 博子	松井 信晃	宮下 良子	安武 敏子	横澤 茂	
七森 明子	濱田 学	福原 伸子	松井 洋二	宮嶋 芽里香	谷田部 弓子	與五澤 秀子	
並木 允子	浜田 泰子	福山 仁宏	松浦 百重	宮田 しのぶ	谷津 紗貴子	吉井 敦子	
滑川 陽子	濱田 祐士	福山 若葉	松尾 尚子	宮本 直子	柳 聡子	吉井 克之	
成田 経利	濱野 晋一郎	藤井 奎子	松尾 創	宮本 直也・千春	柳澤 賢一	吉浦 康	

上記のほか727件のご寄付を賜りました。

【活動による寄付】

100周年記念講演会(長井鞠子氏)
100周年記念物販(キャンドルライトハウスと木工人形)

2021年度女子部保護者会友愛セール
2021年度男子部保護者会オンラインバザー

学園で収穫した銀杏の販売